

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市体育館
2 指定管理者	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 456,371人(前年度比 145.5%) 令和5年度 313,754人 令和4年度 211,000人 《事業》 ・スポーツ施設の運営管理 ・スポーツ振興にかかわるスポーツ教室・イベントの開催
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 265,203 千円 (263,308千円) - その他市が負担した費用 10,503 千円 (10,039千円) 《収入》 - 使用料収入 122,702 千円 (78,330千円) - その他収入 11,979 千円 (11,779千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・スポーツ施設利用者アンケートを実施(令和6年10月11日～令和6年11月1日) ・施設主催事業参加者へのアンケートを実施

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も概ね適切に処理されている。また、安全に対する職員間の意識の浸透は概ね図られている。しかし、事務処理の誤り防止のためのチェックが機能していると言い難い事例があり、改善が求められる。	30/31
III 施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。	23/23
IV サービスの質の向上	職員に対する各種研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるような努力をしており、令6年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 自主事業の参加者用にオンラインでの受付・決済システムを導入しており、利便性の向上に大きく寄与している。 また、ボランティアによる施設見学ツアーは、来館者の満足度向上に加え地域活性化にもつながる取り組みであり、他都市の事例と比較しても特筆すべき取り組みといえる。また、国内だけでなく海外からの来館者もあり、仙台市の交流人口拡大にも貢献している。	30/28
V 施設固有の基準	事業計画書および協定書の通り、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施し、市民のスポーツ振興に寄与している。 また、プールの運営については、利用者の安全性が確保されている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》
開館から令和6年で40年目を迎え、建物及び設備等の経年劣化に伴う不具合が多く発生してまいりました。当館職員や常駐設備職員による点検を日々実施している結果、迅速に応急修繕で初期対応を施し、ご利用のお客さまへの影響を最小限に留めることができました。利用者数も前年度の約1.5倍近くの増加があり、地域商店街の活性化にも繋がっております。 また、令和7年6月より約2年弱の期間で実施する大規模改修工事を迎えるにあたり、仙台市所管課様と連絡を密に取り合いながら、休館に向け準備を進めてまいりました。 事業面では、仙台市スポーツ推進計画の目標達成に寄与するために「通年型」、「短期型」、「自由参加型」という期間別の参加形態を軸に水泳、フィットネス、球技等の多様なプログラムを提供しました。また、乳幼児を含めたこども、高齢者、女性、ビジネスパーソンなど幅広い世代や様々なライフスタイルの方々に参加できる選択肢を用意し、仙台市の中心スポーツ施設として市民のみならず、スポーツへの参加機会の提供に努めてまいりました。また、各種イベントの開催による事業への影響を最小限に抑えるため、日程、実施環境の確保について主催団体との調整を入念に行いながら実施いたしました。 さらに当館が人気漫画・アニメ「ハイキュー!!」の主要な舞台と認知されていることに伴い、多くのファンの方々が見学に来訪されており、そのような方々をおもてなしするためにスポーツボランティアと連携し、施設見学ツアーを引き続き実施しております。来館者に喜んでいただくためにオリジナルタオルを販売するとともに市内周遊を促すために市内のパンフレットを配布し、仙台市の交流人口の拡大にも寄与しております。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
施設の設置目的に基づいた運営方針が明確に示されており、職員全体として質の高いサービスの提供と業務の効率化、経費節減に努めている。 施設の運営管理体制については、職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が概ね図られている。ただし事務処理の誤りを防止するためのチェックが機能していたとは言えず、改善が求められる。 施設設備の維持管理については、建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。 サービスの質の向上については、職員に対する各種研修を通じ、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努力をしており、自主事業参加者用のオンライン受付・決済システム運用やデジタルサイネージの設置による情報発信など、利用者の利便性向上に努めている。また、スポーツボランティアによる施設見学ツアーは、来館者の満足度向上に加え地域活性化にも貢献しており、他都市の事例と比較しても特筆すべき取り組みといえる。 自主事業等については、様々なスポーツ教室等の自主事業を実施しているほか、河北新報に週1でエクササイズ掲載をおこなっており、市民のスポーツ振興に寄与している。また、施設備品の整備や拡充を行うなど、施設の利便性向上に取り組む姿勢は評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課